

《担当者名》鈴木 真人 s-masato@hoku-iryo-u.ac.jp

### 【概要】

- 講義については、介護職が「痰の吸引」・「経管栄養」の医療的ケアの実施にあたって、医療チームの一員としての自覚と倫理観を醸成するために、人間と社会、保健医療制度とチーム医療に関する理解を深める。  
介護職として、利用者に医療的ケアが安全に提供されるための基本的知識として、リスクマネジメントと救急蘇生法、清潔保持と感染予防、健康状態の把握などに加え、「痰の吸引」・「経管栄養」の概論および実施手順などについて、実践的な学習を進める。
- 演習については、「痰の吸引」、「経管栄養」、「救急蘇生法」の実施ケアごとにシミュレーターを用いて効果的な演習をおこない実践できる技術を修得する。

### 【学修目標】

- 介護福祉士が「痰の吸引」や「経管栄養」の医行為の一部を業として行うことになった背景など、医療的ケアを安全に実施するための基礎知識について理解し、説明することができる。
- 「痰の吸引」について、口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部の各吸引に関する基礎知識と実施手順およびその留意点について理解し、説明することができる。
- 「経管栄養」について、胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養に関する基礎知識と実施手順およびその留意点について理解し、説明することができる。
- シミュレーターを用いた「痰の吸引」「経管栄養」および「救急蘇生法」の各演習において、ケア実施の流れ、準備から実施、報告・記録までと留意点について理解し、安全な医療的ケア技術を修得することができる。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション  個人の尊厳と自立	この科目の概要や学習目標、学習内容とスケジュールについて確認する。  医行為についての法律的な理解ができる。 医療の倫理について学び、個人の尊厳と自立について説明できる説明できる。	鈴木
2	医療的ケアと喀痰吸引等の背景	医療制度とその変遷や、医療的ケアと喀痰吸引等の背景を理解し、説明できる。	鈴木
3	医療的ケアと喀痰吸引等の背景	医療的ケアと喀痰吸引等についてその内容を理解し、説明することができる。 介護保険等の制度を理解し、説明することができる。	鈴木
4	安全な療養生活	リスクマネジメントを中心に喀痰吸引や経管栄養を安全に提供することについて理解し、説明することができる。	鈴木
5	安全な療養生活	救急蘇生法の基本的知識について理解し、説明することができる。	鈴木
6	安全な療養生活	救急蘇生法の実際に必要な知識と技法について理解し、説明することができる。	鈴木
7	清潔保持と感染予防	感染予防の基礎知識と正しい手洗い方法、手指消毒方法等について理解し、説明することができる。 介護職自身の健康管理と感染予防について理解し、説明することができる。	鈴木
8	清潔保持と感染予防	療養環境の清潔、消毒法と滅菌と消毒の違いについて理解し、説明することができる。	鈴木
9	清潔保持と感染予防	感染予防のための手洗い方法とうがい方法を修得する。 (演習)	鈴木
10	健康状態の把握	身体・精神の健康状態についての基礎知識と急変状態の対応について理解し、説明することができる。	鈴木
11	健康状態の把握	バイタルサインの測定方法を修得する。	鈴木

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
12	高齢者及び障がい児・者の喀痰吸引についての概論	呼吸のしくみとはたらき及び呼吸状態の観察について理解し、説明することができる。	鈴木
13	高齢者及び障がい児・者の喀痰吸引についての概論	痰を生じて排出するしくみと喀痰吸引とはどういうことかについて理解し、説明することができる。	鈴木
14	高齢者及び障がい児・者の喀痰吸引についての概論	人工呼吸器の必要な状態と人工呼吸器のしくみについて理解し、説明することができる。	鈴木
15	高齢者及び障がい児・者の喀痰吸引についての概論	非侵襲的人工呼吸療法の場合の吸引（口腔内・鼻腔内吸引、気管カニューレ内部吸引）について理解し、説明することができる。	鈴木
16	高齢者及び障がい児・者の喀痰吸引についての概論	人工呼吸器装着者の生活支援上の留意点及び呼吸管理に関する医師・看護職との連携について理解し、説明することができる。	鈴木
17	高齢者及び障がい児・者の喀痰吸引についての概論	子どもの吸引について、吸引の必要な子どもの状況、使用する物品、吸引の留意点について理解し、説明することができる。	鈴木
18	高齢者及び障がい児・者の喀痰吸引についての概論	吸引を受ける利用者や家族の気持ちについて理解し、説明することができる。	鈴木
19	高齢者及び障がい児・者の喀痰吸引についての概論	吸引に関連した呼吸器系の感染と予防について理解し、説明することができる。	鈴木
20	高齢者及び障がい児・者の喀痰吸引についての概論	喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認及び急変・事故発生時の対応と事前対策について理解し、説明することができる。	鈴木
21	高齢者及び障がい児・者の喀痰吸引実施手順	喀痰吸引で用いる器具・器財とそのしくみと清潔の保持について理解し、説明することができる。	鈴木
22	高齢者及び障がい児・者の喀痰吸引実施手順	吸引の技術と留意点について理解し、説明することができる。 ・必要物品の準備・設置と留意点 ・吸引前の利用者の状態観察と準備及び留意点	鈴木
23	高齢者及び障がい児・者の喀痰吸引実施手順	吸引の技術と留意点について理解し、説明することができる。 ・吸引実施手順と留意点	鈴木
24	高齢者及び障がい児・者の喀痰吸引実施手順	喀痰吸引に伴うケアについて理解し、説明することができる。	鈴木
25	高齢者及び障がい児・者の喀痰吸引実施手順	喀痰吸引に関する報告と記録について理解し、説明することができる。	鈴木
26	高齢者及び障がい児・者の喀痰吸引実施手順	喀痰吸引の実際の器具・器財について確認し、必要物品を理解し、説明することができる。 （喀痰吸引についての知識確認テストを実施）	鈴木
27	高齢者及び障がい児・者の経管栄養概論	消化器のしくみとはたらきについて理解し、説明することができる。	鈴木
28	高齢者及び障がい児・者の経管栄養概論	消化・吸収とよくある消化器の症状について理解し、説明することができる。	鈴木
29	高齢者及び障がい児・者の経管栄養概論	経管栄養は何かについて理解し、説明することができる。	鈴木
30	高齢者及び障がい児・者の経管栄養概論	経管栄養の注入する内容に関する知識について理解し、説明することができる。	鈴木
31	高齢者及び障がい児・者の経管栄養概論	経管栄養実施上の留意点について理解し、説明することができる。	鈴木
32	高齢者及び障がい児・者の経管栄養概論	子どもの経管栄養について理解し、説明することができる。	鈴木
33	高齢者及び障がい児・者の経管栄養概論	経管栄養に係る感染と予防について理解し、説明することができる。	鈴木
34	高齢者及び障がい児・者の経管栄養	経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明	鈴木

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	概論	と同意について理解し、説明することができる。	
35	高齢者及び障がい児・者の経管栄養概論	経管栄養により生じる危険と注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解し、説明することができる。	鈴木
36	高齢者及び障がい児・者の経管栄養実施手順	経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持について理解し、説明することができる。	鈴木
37	高齢者及び障がい児・者の経管栄養実施手順	経管栄養の技術と留意点について理解し、説明することができる。 ・必要物品の準備・設置と留意点 ・経管栄養前の利用者の状態観察、準備と留意点 ・実施手順と留意点	鈴木
38	高齢者及び障がい児・者の経管栄養実施手順	経管栄養中及び実施後の利用者の身体変化の確認と医師・看護職への報告について理解し、説明することができる。	鈴木
39	高齢者及び障がい児・者の経管栄養実施手順	経管栄養に必要なケアについて理解し、説明することができる。 (経管栄養についての知識確認テストを実施)	鈴木
40	喀痰吸引のケアの実施(演習)	喀痰吸引のケアの実施の流れ(準備から実施、報告・記録まで)と留意点について習得する。 ・喀痰吸引の必要物品について理解し、使用することができる。	鈴木
41	喀痰吸引のケアの実施(演習)	喀痰吸引のケアの実施の流れ(準備から実施、報告・記録まで)と留意点について習得する。 ・口腔内吸引について準備から実施の手技・留意点を理解し実施できる。	鈴木
42	喀痰吸引のケアの実施(演習)	喀痰吸引のケアの実施の流れ(準備から実施、報告・記録まで)と留意点について習得する。 ・口腔内吸引について、観察項目を踏まえながら実施し報告まで行うことができる。	鈴木
43	喀痰吸引のケアの実施(演習)	喀痰吸引のケアの実施の流れ(準備から実施、報告・記録まで)と留意点について習得する。 ・鼻腔内吸引について、準備から実施の手技・留意点を理解し実施できる。	鈴木
44	喀痰吸引のケアの実施(演習)	喀痰吸引のケアの実施の流れ(準備から実施、報告・記録まで)と留意点について習得する。 ・鼻腔内吸引について、観察項目を踏まえながら実施し報告まで行うことができる。	鈴木
45	喀痰吸引のケアの実施(演習)	喀痰吸引のケアの実施の流れ(準備から実施、報告・記録まで)と留意点について習得する。 ・気管カニューレ内吸引について、準備から実施の手技・留意点を理解し実施できる。	鈴木
46	喀痰吸引のケアの実施(演習)	喀痰吸引のケアの実施の流れ(準備から実施、報告・記録まで)と留意点について習得する。 ・気管カニューレ内吸引について、観察項目を踏まえながら実施し報告まで行うことができる。	鈴木
47	経管栄養のケアの実施(演習)	経管栄養のケアの実施の流れ(準備から実施、報告・記録まで)と留意点について習得する。 ・経管栄養の必要物品について理解し、使用することができる。	鈴木
48	経管栄養のケアの実施(演習)	経管栄養のケアの実施の流れ(準備から実施、報告・記録まで)と留意点について習得する。 ・経鼻経管栄養について、準備から実施の手技・留意点を理解し実施できる。	鈴木
49	経管栄養のケアの実施(演習)	経管栄養のケアの実施の流れ(準備から実施、報告・記録まで)と留意点について習得する。 ・経鼻経管栄養について、観察項目を踏まえながら	鈴木

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		実施し報告まで行うことができる。	
50	経管栄養のケアの実施 (演習)	経管栄養のケアの実施の流れ(準備から実施、報告・記録まで)と留意点について習得する。 ・胃ろうまたは腸ろうについて、準備から実施の手技・留意点を理解し実施できる。	鈴木
51	経管栄養のケアの実施 (演習)	経管栄養のケアの実施の流れ(準備から実施、報告・記録まで)と留意点について習得する。 ・胃ろうまたは腸ろうについて、観察項目を踏まえながら実施し報告まで行うことができる。	鈴木
52	救急蘇生法についての実施 (演習)	救急蘇生法の実施について習得する。 ・心肺蘇生法(シミュレーター使用)	鈴木
53	救急蘇生法についての実施 (演習)	救急蘇生法の実施について習得する。 ・異物の除去法 ・A E Dの使用法	鈴木

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

定期試験100%(筆記試験50%、実技試験50%)

#### 【教科書】

最新 介護福祉士養成講座15 「医療的ケア」第2版(2022) 中央法規

#### 【備考】

この科目は、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「医療的ケア」に該当する。

#### 【学修の準備】

シラバスに準じて事前に教科書を読み予習をしておくこと(2時間)。

毎回の講義内容について復習を行うこと(2時間)。

#### 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2:福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている

DP1:人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている

DP4:保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている

#### 【実務経験】

看護師

#### 【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、医療的ケアの実施について実践的な講義と演習を行う。